



2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年7月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2017年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第1四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	3,651	2.9	113	100.9	86	252.7	53	52.0
2017年3月期第1四半期	3,548	△8.2	56	△44.3	24	△61.6	35	—

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 75百万円(—%) 2017年3月期第1四半期 △19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第1四半期	9.59	9.58
2017年3月期第1四半期	5.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第1四半期	19,116	7,129	36.7	1,257.31
2017年3月期	18,823	7,130	37.4	1,259.60

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 7,018百万円 2017年3月期 7,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,100	△1.2	220	0.9	160	0.8	100	163.6	17.41
通期	14,800	1.2	690	10.0	570	19.1	340	31.4	59.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期1Q	6,006,373株	2017年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	423,992株	2017年3月期	423,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期1Q	5,582,381株	2017年3月期1Q	6,002,453株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本の経済状況は、堅調な雇用・所得情勢を受け、個人消費は緩やかに回復し、企業の景況感も輸出の増加等により回復基調が続きました。世界経済は、政治や国際情勢の不透明感はありませんでしたが、比較的堅調に推移し緩やかに拡大いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は建設関連貨物が低調に推移したものの、生産関連貨物に回復の動きが見られました。国際貨物は、航空貨物を中心に輸出入ともに堅調な荷動きとなりました。

このような事業環境の中、当社は無線通信機器の取扱高が減少したものの、国際航空貨物及び計測機器取扱いにおける新規案件を開始したことにより、売上高は増加いたしました。利益面におきましては、売上高の増加及び賃貸ビル事業において満室が寄与したことにより、営業利益は増加いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期に整理した華東地区の子会社2社が連結対象から外れたことにより、売上高は減少いたしました。利益面におきましては、赤字子会社2社を整理したことに加え、上海地区子会社における工作機械取扱いが徐々に増加したことにより、利益の計上に至りました。

米国連結子会社におきましては、主要顧客の大幅増産に伴い、工作機械のスチール梱包業務が好調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高36億51百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益1億13百万円（前年同期比100.9%増）、経常利益86百万円（前年同期比252.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益53百万円（前年同期比52.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

新規案件が大きく寄与したほか、海外子会社における工作機械取扱いが増加したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高26億44百万円（前年同期比4.0%増）セグメント利益2億38百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱いが減少した影響により、売上高は微減となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高4億97百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益13百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

③ 倉庫事業部門

国際航空貨物取扱いにおける新規案件の開始が売上高に寄与しましたが、前期発生したスポット売上がなくなったことにより、売上高及びセグメント利益ともに微減となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高4億37百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益75百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

フリーレント期間が終了したことに加え修繕費が減少したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高71百万円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益25百万円（前年同期比206.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産191億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億92百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、52億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億22百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加4億67百万円、受取手形及び売掛金の減少1億33百万円によるものであります。

固定資産につきましては、138億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億29百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少91百万円、リース資産の減少57百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加24百万円によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、119億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、39億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の減少1億20百万円、その他流動負債の増加3億74百万円によるものであります。

固定負債につきましては、80億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加1億18百万円、リース債務の減少62百万円によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、71億29百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同水準となりました。これは主に、利益剰余金の減少35百万円、その他有価証券評価差額金の増加17百万円、新株予約権の増加12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.4%から36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2017年5月11日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,499	1,892,259
受取手形及び売掛金	3,047,473	2,913,752
原材料及び貯蔵品	107,259	122,724
繰延税金資産	110,355	151,305
その他	179,494	209,976
貸倒引当金	△6,000	△4,500
流動資産合計	4,863,083	5,285,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,666,118	7,574,926
機械装置及び運搬具(純額)	86,494	87,306
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	2,010,548	1,953,319
その他(純額)	31,706	30,251
有形固定資産合計	12,098,323	11,949,259
無形固定資産		
ソフトウェア	104,490	98,462
その他	674	647
無形固定資産合計	105,164	99,109
投資その他の資産		
投資有価証券	450,683	475,049
破産更生債権等	8,047	7,967
繰延税金資産	662,528	655,645
その他	640,552	648,639
貸倒引当金	△4,464	△4,409
投資その他の資産合計	1,757,348	1,782,892
固定資産合計	13,960,836	13,831,261
資産合計	18,823,919	19,116,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,547	500,930
短期借入金	1,813,819	1,813,310
リース債務	246,230	247,217
未払法人税等	46,545	100,715
賞与引当金	275,596	155,198
その他	748,314	1,122,463
流動負債合計	3,700,053	3,939,834
固定負債		
長期借入金	4,535,060	4,653,100
リース債務	1,860,184	1,797,613
退職給付に係る負債	826,544	831,083
資産除去債務	414,947	417,188
長期預り金	207,625	207,625
金利スワップ	148,743	140,373
固定負債合計	7,993,105	8,046,985
負債合計	11,693,159	11,986,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,298,688	2,262,906
自己株式	△208,622	△208,622
株主資本合計	7,055,060	7,019,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,086	172,066
繰延ヘッジ損益	△103,198	△97,391
為替換算調整勘定	△6,478	△9,874
退職給付に係る調整累計額	△67,924	△65,294
その他の包括利益累計額合計	△23,514	△493
新株予約権	—	12,950
非支配株主持分	99,214	98,224
純資産合計	7,130,760	7,129,960
負債純資産合計	18,823,919	19,116,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
売上高	3,548,880	3,651,337
売上原価	2,904,925	2,975,193
売上総利益	643,954	676,144
販売費及び一般管理費		
販売費	286,011	263,962
一般管理費	301,508	298,779
販売費及び一般管理費合計	587,519	562,741
営業利益	56,435	113,402
営業外収益		
受取利息	247	65
受取配当金	3,993	3,794
受取保険金	35	36
その他	2,452	1,283
営業外収益合計	6,728	5,179
営業外費用		
支払利息	38,566	31,497
その他	—	318
営業外費用合計	38,566	31,816
経常利益	24,597	86,765
特別利益		
固定資産売却益	103	—
特別利益合計	103	—
特別損失		
固定資産売却損	960	—
投資有価証券売却損	75	—
特別損失合計	1,035	—
税金等調整前四半期純利益	23,665	86,765
法人税、住民税及び事業税	57,150	76,150
法人税等調整額	△66,130	△42,164
法人税等合計	△8,980	33,985
四半期純利益	32,646	52,779
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,583	△756
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,229	53,536

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	32,646	52,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,211	17,746
繰延ヘッジ損益	△5,773	5,806
為替換算調整勘定	△18,156	△3,395
退職給付に係る調整額	2,670	2,630
その他の包括利益合計	△52,471	22,788
四半期包括利益	△19,825	75,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,182	76,557
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,642	△989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,541,856	501,697	444,520	60,806	3,548,880	3,548,880
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	886	—	—	886	886
計	2,541,856	502,583	444,520	60,806	3,549,766	3,549,766
セグメント利益	180,359	11,621	83,601	8,237	283,820	283,820

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	283,820
セグメント間取引消去	189
全社費用(注)	△227,574
四半期連結損益計算書の営業利益	56,435

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,644,270	497,863	437,558	71,644	3,651,337	3,651,337
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,009	—	—	1,009	1,009
計	2,644,270	498,873	437,558	71,644	3,652,346	3,652,346
セグメント利益	238,117	13,828	75,890	25,211	353,047	353,047

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	353,047
セグメント間取引消去	101
全社費用(注)	△239,746
四半期連結損益計算書の営業利益	113,402

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。